

研究課題名：低侵襲心臓手術の術中・術後管理の検討
研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科 麻酔科 教授 堤保夫
研究期間 2021年8月23日倫理委員会承認後 ～ 2025年3月
対象者 2020年1月から2023年12月の間に、広島大学病院でMICS（低侵襲心臓手術）を受ける患者さん
意義・目的 近年の最小限の侵襲で手術を行う技術の進歩に伴い、1990年代から心臓手術の低侵襲化が始まりました。低侵襲心臓手術（Minimally invasive cardiac surgery：MICS）とは、胸骨縦切開を行わない、または人工心肺を用いない心臓手術と定義されています。当院においても右小開胸による僧帽弁手術等を行っています。MICSは胸骨感染や縦隔炎の回避等の利点がある一方、肺水腫や肺炎、胸水貯留等の合併症の報告もあります（J Card Surg 2009; 24: 693-694）。本研究の目的は、MICSの術中・術後管理経験をもとにMICSの麻酔を含めた術中管理法と術後管理法を検証することです。これにより、今後のMICSの術中管理や術後管理が向上する可能性があります。
方法 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、患者背景（年齢、性別、身長、体重、ASA分類、病名、術式、心機能所見、画像所見、血液データ）、術中情報（手術時間、人工心肺時間、大動脈クランプ時間、麻酔時間、片肺時間、麻酔法、呼吸器設定、投与薬剤、血圧などのVital Sign、心機能所見、水分バランス）、術後情報（Vital Sign、水分バランス、処置の時間と内容、呼吸器設定、投与薬剤、心機能所見、画像所見、集中治療室滞在日数、入院日数、転機）などです。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関 ありません。
試料・情報の管理責任者 広島大学大学院医系科学研究科 麻酔科 教授 堤保夫
個人情報保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5267 広島大学病院 麻酔科 助教 加藤貴大

研究機関：広島大学